

第6回AACサウンドパフォーマンス道場プロジェクト 作品企画案 募集要項

2006年に始まった「AACサウンドパフォーマンス道場」(AACはAichi Arts Center(愛知芸術文化センター)の略。以下「AAC道場」という)は、サウンドパフォーマンス作品の企画案を一般公募し、発展性のある優秀な作品を選考の上、愛知県芸術劇場小ホールで上演する機会を与え、全国に向けて発信するプロジェクトです。

ジャンルにとらわれないサウンドパフォーマンスというアートの動向に着目し、若いアーティストのための登竜門となることを目指しています。単に優劣を決めるだけのコンペティションではなく、出演制作料としての賞金交付やブラッシュアップ・プログラムなど、選考委員・主催者が一丸となって若手アーティストを応援し、作品を磨き上げることを重視するユニークなコンテストです。

1. 募集概要

■募集作品企画案

音を核にすえたパフォーマンス(サウンドパフォーマンス)作品(上演時間20分以内)

(キーワード:音、身体、パフォーマンス、テクノロジー)

〈補足事項〉

○キーワード:音、身体

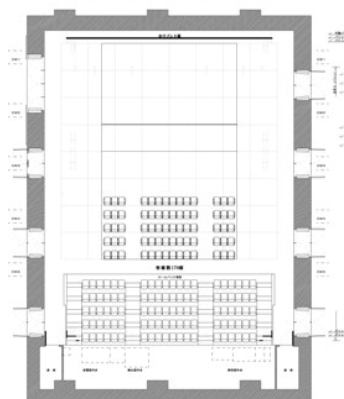
①音(楽器音、声、物音などあらゆる種類の音が対象です。)が作品の重要な要素であること

②演奏者、操作者、パフォーマーなど人間の身体が登場すること

の2点を満たせば、どんな形でも応募可能とします。単なる音楽の演奏や、生演奏を伴うダンス公演ではなく、異ジャンルのアーティストたちによるコラボレーションをはじめとする、既存の「コンサート」や「ダンス公演」を飛び出た、新しいアーツ表現を期待します。

○キーワード:パフォーマンス

上演会場は、客席が約 200 席、床・壁・天井など全体が黒色の小劇場です。舞台は、基本的な大きさとしては、間口約 12m、奥行き約 8m、高さ約 5m、正面にホリゾント幕もしくは大黒幕もしくは黒壁、舞台に対峙して客席があるエンドステージ形式で使ってください(右図参照)。詳細は入選後に打ち合わせます。舞台転換のための時間は 10 分以内とします。照明、音響の基本的な設備と、舞台監督・音響・照明のスタッフを事務局でそろえます。この劇場を舞台に、どのような空間、時間のパフォーマンスとするのか、観客にどのような体験をしてもらうのか。自由な発想による企画を期待します。



○キーワード:テクノロジー

現代は、好むと好まざるにかかわらず、テクノロジーの時代です。われわれは、何かを感じ、考え、作ろうとする際にも、常にテクノロジーを呼吸していると言えます。テクノロジーを駆使する、支えてもらう、あるいは拒否する…テクノロジーをどう考え、どのように向き合うかに正解はありませんが、企画作品において真剣に考えてください。独創的で挑戦的な現代のサウンドパフォーマンスを期待します。

■応募資格

応募者(グループの場合は代表者及び出演者の半数以上)の年齢が、平成24(2012)年4月1日現在、満35歳以下であること。

■応募条件

入選等、受賞した場合、次の2つのことを守っていただきます。

- ①すべてのブラッシュアップ・プログラムに参加すること(グループでの応募の場合は1名以上)。
- ②以後3年間は、入選、優秀賞受賞などを、活動歴やプロフィールに必ず記載すること。

■募集期間

平成24(2012)年6月1日(金)～平成24(2012)年7月10日(火) 必着

■応募方法

この「募集要項」を熟読の上、次の3種類の書類等を事務局宛てに、送付又は持参してください。

(1)規定の「応募用紙」:1枚

(2)プレゼンテーション・シート:5部

規定の「プレゼンテーション・シート」(もしくは同じ内容の資料)。添付資料も含めて全体をA4サイズの用紙で15ページ以内に収めてください。プレゼンテーション・シートの内容と本公演での上演作品が著しく異なる場合は、入選・上演を取り消すこともありますので、上演の実現性を必ず検討した上でシートを作成してください。

(3)映像資料(DVD-video):1点

30分以内。DVDケースだけでなく、本体にも、必ず応募者名と内容を明記してください。応募作品企画の試演や以前に行った類似作品など、参考になる内容をお願いします。

- ・応募は、1人(1グループ)1企画とします。
- ・過去に入選されたことのある方は、応募できません。
- ・応募された資料は、返却しません。
- ・応募書類としてご提出いただいた個人情報は、当プロジェクトの目的に限って利用させていただきます。なお個人情報の取扱いにつきましては、法令の定めに従い、厳重に管理いたします。

2. スケジュール

■書類選考結果発表(7月末)

選考委員による書類選考の結果、4組以内の入選者を決定します。入選者は、愛知芸術文化センターのウェブサイトに掲載するほか、応募者本人には、入選・選外にかかわらず、郵便で通知します。



■ブラッシュアップ・プログラム(8月～9月)

入選者を対象に、次のブラッシュアップ・プログラムを実施します(これは、選考委員、舞台技術スタッフ、主催者が一緒になって行う、AAC道場ならではの特色です。)

- ①会場下見及び舞台スタッフとの打ち合わせ(日程・場所:各入選者と調整の上、決定)
 - ②プレゼンテーション1 (8月25日(土)17:00-21:00 場所:パルル/名古屋市中区新栄2-2-19)
 - ③プレゼンテーション2 (9月12日(水)18:30-21:00 場所:愛知県芸術劇場小ホール)
- *②③は当日の午後からリハーサルを行っていただきます。開始時間は入選者と調整します。
*②③のプレゼンテーション終了後に、選考委員との交流の機会を予定しています。

※ ① 会場下見及び舞台技術スタッフとの打ち合わせ

公演を行う愛知県芸術劇場小ホールの舞台・音響・照明設備及び舞台スタッフを紹介します。舞台スタッフは、作品内容を仕上げ、上演するために、舞台技術面でサポートします。

※ ②③ プレゼンテーション

- *書類選考から本公演までの間に作品内容を更に磨き上げていくため、入選者に作品の一部の上演や作品についての解説などプレゼンテーションを公開で行ってもらい、選考委員をはじめとする参加者からアドバイスを得たり、ディスカッションを行います。ともすれば自分だけの世界に閉じこもりがちな制作プロセスに、第三者の眼が入ることで、より説得力のあるハイレベルな作品として完成させていくことを期待します。
- *プレゼンテーションを経ることで、入選した企画案に、応募時のプレゼンテーション・シートにはなかった大きな変更が生じる場合がありますが、そうすることで完成度の高い作品となる場合は可とします。そうではなく、プレゼンテーション・シートの内容と本公演での上演作品が著しく異なる場合は、入選・上演を取り消すこともありますので、選考委員や舞台スタッフと打合せを深めながら、作品を完成させてください。



■本公演及び公開審査(10月6日(土)15:00-20:00(時間は予定)、仕込み・リハーサル:10月4日(木)、5日(金))

愛知芸術文化センター愛知県芸術劇場小ホールで、入選作品の本公演を行います。

公演終了後に、選考委員による『優秀賞』の公開審査、観客の投票で選ぶ『オーディエンス賞』の発表、授賞式を行います。

- *仕込み、リハーサルの時間は、入選者と調整します。

3. 選考委員と賞

■選考委員

- 桜井圭介(吾妻橋ダンスクロッシング企画制作、作曲家、編曲家)
畠中実(NTT インターコミュニケーションセンター [ICC] 主任学芸員)
山本裕之(作曲家、愛知県立芸術大学音楽学部准教授)
藤井明子(愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員)

■賞

<作品企画案の応募書類から>

- 入選(4組以内) 音を核にすえたパフォーマンス(サウンドパフォーマンス)作品として、独創性に富み、発展性のある挑戦的な作品。賞金20万円(出演料として)と、舞台上演の機会が与えられ、ブラッシュアップ・プログラムを通じて、選考委員・舞台スタッフから上演に向けての具体的なアドバイスやサポートが受けられます。

<本公演で上演した作品の中から>

- 優秀賞 選考委員により、完成度・独創性・発展性の点から最も優秀であるとして選ばれた作品。再上演の機会が与えられます。
- オーディエンス賞 全上演作品の中から観客投票により、最も良かったとして選ばれた作品。入場料の一部が賞金として与えられます。

4. 入選(作品の上演)における経費負担について

■AAC 道場の事務局で、次の経費を負担及び手配を行います。

- ① 賞金:1企画につき 20 万円(入選作品企画案の制作出演料として)
- ② 舞台監督・照明・音響スタッフ(作品の都合上、入選者側のスタッフが行うことも可能)
- ③ フロント及びケータリングスタッフ
- ④ チラシ、プログラムの作成(原稿の作成、写真等の資料提出をお願いします。)
- ⑤ 記録写真、記録映像の作成(原稿の作成、写真等の資料提出をお願いします。)
- ⑥ チケットの委託・販売(いわゆるチケットノルマはありませんが、広報・チケット販売の協力を必ずお願いします。)

■入選者には、次の経費を負担いただきます。

- ① 企画・出演・スタッフ(旅費・宿泊費を含む。)-持込機材・打合せ・リハーサル等に係る全ての費用
- ② 事務局で手配する以外のスタッフ人件費(入選者側のスタッフ、映像スタッフ等)
- ③ 小ホールの付属設備以外の照明・音響・映像等の持込機材費
- ④ ピアノの調律料
- ⑤ 作品の一部となる映像や舞台装置等に関する全ての費用(作品作製・持込み・設営・撤去など)
- ⑥ 音楽等の著作権使用料

- ・ 客席の設営については、愛知芸術文化センターと出演者とが共同で行います。
- ・ 照明・音響については、デザイン、仕込み、操作スタッフを、事務局が手配しますが、入選者(出演団体の一員)が自分で行うことも可能です。

5. その他

- ・ 上演・記録出版に際し、支障をきたさない企画であること。
- ・ プレゼンテーション・シートの内容と著しく作品内容が異なる場合は、入選・上演を取り消すこともあります。
- ・ 出演者が第三者の有する著作権、肖像権、商標権、意匠権などの権利(映像、写真、グラフィック、音楽、文章、デザイン、文字など)を侵害する恐れがある場合は、出演者の責任において必要な許可を得た上で、そのことを出演時に申し出ること。万一、第三者から権利侵害との提訴がなされた場合、主催者側に発生した損害を含め、出演者自身の費用と責任において対応していただきます。
- ・ 入選者に、本公演でのチケットノルマはありませんが、多くのお客様にご覧いただけるよう、広報・チケット販売には協力いただきます。

主催：愛知芸術文化センター企画事業実行委員会 / 企画・制作：愛知県文化情報センター

後援：日本電子音楽協会 / 助成：公益財団法人アサヒビール芸術文化財団

平成 24 年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

問い合わせ・応募書類の提出先(事務局)

AACサウンドパフォーマンス道場プロジェクト係

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 愛知芸術文化センター文化情報センター内

電話 052-971-5511 内線 534(受付時間:9:00-17:30 土日祝日を除きます。)

FAX052-971-5605 Email: bunjo@aac.pref.aichi.jp